

研究課題番号	S-14-4
研究課題名	アジアのメガシティにおける緩和を考慮した適応策の実施事例研究
研究実施期間	平成 27 年度～令和元年度
累計予算額	237,738 千円
研究機関名	東京工業大学
研究代表者名	神田 学

1. 評価者の指摘及び提言概要

人工衛星データを使用した都市 GIS データベース、衛星夜間光強度データ、JAXA の 30m 標高データ、1km・1 時間の全球人工排熱データ等を利用した全球データベースを構築し、さらにジャカルタの都市気候予測を実施したのは顕著な成果である。さらに、適応策への投資費用とそれによる被害回避費用適応策と緩和策について、気候変動と都市化の両者の影響を明快に解析し、都市化の重要性を明らかにしたことは優れた成果である。この研究成果と同じ方法論がどこまで拡張性、汎用性を持つのかについては検討が必要であるが、政策貢献としての成果は大きい。

2. 評点

総合評点：A